

また大伴宿禰家持の和ふる歌三首

七三二番

今^{いま}しはし 名^なの惜^をしけくも 我^{われ}はなし 妹^{いも}により
ては 千^{ちた}度^{びた}立つとも

七三三番

うつせみの 世^よやも二^{ふた}行^ゆく なにすとか 妹^{いも}に逢^あ
はずて 我^あがひとり寝^ねむ

七三四番

我^わが思^{おも}ひ かくてあらずは 玉^{たま}にもが まことも
妹^{いも}が 手^てに巻^まかれむを